

「オールふじみ野」未来政策会議アンケート 両テーマ【チーム B 市民メンバー（回答：17 名）】

(※端数調整の関係で割合が必ずしも 100%にならない場合があります。)

I. 未来政策会議（事前会議）

1. 未来政策会議（事前会議）の開催回数はいかがでしたか。

1. 概ね適切	8 人（47.1%）
2. 適切でない	7 人（41.2%）
3. わからない	2 人（11.8%）

【理由】

1. 概ね適切

- ・もう 1～2 回欲しかった。
- ・最終的なまとめと発表準備用に、もう 1 回事前会議があっても良かったと思います。消極的な方も多く 3 回目の会議は割振りを決めるのが精一杯で、内容に関する議論を行う時間的余裕は皆無でした。当初想定した時間配分に無理があったのだと思われます。
- ・時間的制約等もあったとは思いますが、回数的には妥当だったのでないだろうか。ただ、本番に臨むためのリハーサルの為の時間は必要だったと思う。
- ・グループワークなので、回数が多いと出席者が少なくまとまらない心配がある。
- ・多い方が成果はあるが、市民参加では限界。
- ・アイデアを深めるには足りないものの、いろいろなアイデアを出すこと自体を目的としていたようだったので、概ね適切だと感じた。

2. 適切でない

- ・3 回の意見陳述、討議で意見集約などできない。コンサルの長々と無意味な講義を聞かされて時間を浪費した。座長の問題意識も希薄で不明瞭。
- ・テーマに対する議論をもう少し煮詰めていくべきで、5, 6 回必要だと思う。
- ・全く足りない。これほど大きなテーマであれば、2 倍ほどあっても不足であろう。
- ・第 2 回と第 3 回の内容が多すぎて、方向性も明確にしない為、宿題となり、参加者の負担増になってしまった。せっかく第 1 回で共有しあったアイデアが、2 回目以降で役立てる手法が不明確だった。内容的には、第 2 回で、他の自治体でやっている事例の紹介と第 1 回のアイデアとの融合について討議。第 3 回で第 2 回の内容を個人レベルで成熟させてまとめた物を発表。方向性について討議。第 4 回で、第 3 回の討議内容から全体案を明確にして、発表内容について確認と担当者別に役割分担を決める。第 5 回で第 4 回の分担した成果を発表し、本番リハーサルと修正を行う。程度の回数開催は必要と思われます。

- ・事前会議の進め方から本番会議前の事前会議までの回数および討議時間が、あまりにも足りなかった様に感じる。(個人的な感覚ではあるが)
- ・色々な参加者の都合も勘案してのことではと思うが、回数が少ない。さらに毎回、時間が短いので内容が未消化になりやすい。
- ・メンバーの意思疎通が不十分なまま議題へ入ったので、時間と工夫が必要だと思いました。

3. わからない

- ・今回の場合、私は最終回を欠席したため何とも言えませんがかなり御苦労されたようです。

2. 未来政策会議（事前会議）の進め方についてどう思われますか。

1. 概ね適切	8 人（47.1%）
2. 適切でない	7 人（41.2%）
3. わからない	2 人（11.8%）

【理由】

1. 概ね適切

- ・行政等のセミプロではなく一般市民参加が前提の会議ですので、それなりの意見展開に至るには相応の理解と時間が必要だと思われま。事前資料や事前課題等助走期間を設け、ある程度予習をしたうえで会議に臨むやり方もやむを得ないのではないのでしょうか。
- ・最初は理解できている人は少なかったと思いますが、職員やリーダー、コーディネーターのリードで少しずつ理解できました。
- ・ファシリテーターが専門家だったので、良かったのではないかと思う。
- ・事前会議初日のワールドカフェ方式での討議の説明で始まり、実際に討議し、事前会議第 2 回目、第 3 回目と進めるに際し、議事進行役のコーディネーターが、進め方を含め、それぞれの討議・検討が当該時間内でまとまる様に対処されたので適切であったと判断する。
- ・回数も時間も少なく、参加者レベルが多様なので進行係がご苦労されたと思う。この制約の中では仕方がないでしょう。
- ・概ね適切ですが、もう少しメンバー同士間が、うまく意見交換を活発に行われるような工夫の必要性を感じました。

2. 適切でない

- ・毎回の会議の獲得目標に向けた進め方が適切でなかった。
- ・改革推進を名乗る課がなぜ外部コンサルに会議の進め方を丸投げするのか？市民のなかには各分野に秀でた者がいるのをご存知ないのでしょうか？
- ・会議にあたり市民判定人が主導権をにぎりケチをつける場面もあった。20代～40代の人を参加させるべき。
- ・方向性が見えず、参加者が初めての参加だったので、議論の進め方がわかりにくかった点があったと思う。テーマに沿って個々の意見をまとめるのは難しいとつくづく思った。
- ・コーディネーターに依存しすぎである。原則的には、市当局が運営すべきである。コーディネーターに助言を求めることはあっても良いが、それは陰の存在とすべきであろう。
- ・ただ単に、カリキュラムをこなすだけに追われた気がする。
- ・先進事例を聞いてもそれを生かせるような話では無かった。この事例から、どの様に政策案に結びつけられると考えたのだろうか？ 時間と費用の無駄遣いと感じた。それから、どの様に案をまとめようとしているのかが全く解らないため（時間も含めて）、コーディネーターの言うとおりにしか進められず、しかも時間設定に無理がある為、すべてが中途半端に終わってしまった様に思います。

3. わからない

- ・絞り込まれたテーマによりますが今回が初めてでもあり、暗中模索の状態でした。ルーティン化され、議事進行に必要な詳細なプログラムさえあれば円滑化は図れると思います。

3. 事前会議の開催日・時間についてどう思いましたか。

1. 平日夜間がよい	8 人 (47.1%)
2. 平日日中がよい	3 人 (17.6%)
3. 土日がよい	3 人 (17.6%)
4. その他	3 人 (17.6%)

【理由】

1. 平日夜間がよい

- ・現役世代の方の積極参加を促すためにも、平日の夜が最善だと思います。平日日中だと通常の職業人は参加不可能で、リタイヤ世代や自営業・自由業の方に参加者が偏ってしまい、幅広い見地から良案を議論できる可能性を排除してしまう懸念があります。土日は役所の方も我々市民も、機会損失が大きいと思われるので出来れば回避しましょう。
- ・今回のチーム B の構成メンバーからすれば、市職員の勤務時間中の出席は問題があるだろう。1 か 3 か、第 1 回会合時に構成メンバーの意向を訪ねて設定することも考えられる。
- ・大勢の出席者を望めると思います。回数を増やさないためにも 1 回の時間をもう少し長く出来ればと思います。
- ・個人的な都合（仕事）
- ・働いている人間にとって来やすいのは、平日夜間だと思う。
- ・参加者それぞれ、仕事の都合もあるので、平日夜間と土日のミックスも良いのでは？達成感を感じるには、もう少し時間が必要だと思います。
- ・今回のような時間帯で問題ないと思います。

2. 平日日中がよい

- ・遅い時間になるのもやむを得ないと思うが、夜は疲れているし、眠い。どうしても参加したいという方については、ペーパー参加を検討されては如何か？
- ・少々短く思います。
- ・主婦であれば、やはり日中がよいです。今度は主婦メインで会議を開いてみたら楽しいかも。働いている主婦はパワーがあります。

3. 土日がよい

- ・今回、平日午後 7 時から 9 時に行われたが、仕事等で疲れていて頭がまわらなく良い案が出ないと思う。
- ・平日夜間だと時間的制約がある方も多いと思われる。平日日中も参加できる方は限られると思う。出来れば、個々の予定の取りやすい土日が理想だと思う。

- ・ チームメンバー、市民オブザーバーがどのような環境にある人達かにもよりますが、参加し易い曜日、活用出来る時間帯は一般的には、土、日になるのではないのでしょうか。

4. その他

- ・ 参加対象者の多くの方が参加できる時間であればよいと考える。
- ・ 重いテーマか、軽いテーマか、で内容によります。現役世代に参画願うなら平日夜間がよいかも。
- ・ メンバーが出席できる事が大前提の筈で、参加者を集めるときに、全てに参加できないのであれば、メンバーを変更する必要もあると思います。特に、本番に参加できない人は、メンバーにすべきではないと思います。

4. 資料の内容は未来政策会議で提案を行う上で、適切に作成できたと思いますか。

1. 概ね適切	10人 (58.8%)
2. 適切でない	6人 (35.3%)
3. わからない	1人 (5.9%)

【理由】

1. 概ね適切

- ・まあまあ適切
- ・概ね適切だと思いますが、もう少しソフトに作成して欲しい。
- ・個々の方々の意見をまとめ、資料として取りまとめるのは大変難しかった。資料の内容等どのような形での提案がよいのか、もう少しアドバイスが欲しかったのが本音だ。
- ・財政的に豊かで無いふじみ野市ができる身の丈のものを選択した。
- ・グループワークの難しさはありましたが、「他人の意見を理解する」ことは、結果的に私なりの下調べもあり、勉強になりました。
- ・自分で作成した資料は、それなりにまとめられたと思いますが、やはりアイデアだけになってしまった様に感じます。
- ・すごく丁寧にやってくれていて、時間もかかっていると思うと感謝です。ありがとうございます。
- ・事前会議のトータル時間が少なかつた割にしては、「現状・問題意識」、「方向性」、「具体的提案①～④」の全体の流れ、および提案内容に整合性の取れたものに出来上がった判断している。
- ・概ね適切だとは思いますが、こちら側ももっと推敲を重ねたものにしたかったのですが、いいアイデアが浮かびませんでした。

2. 適切でない

- ・参加対象者の多くの方が参加できる時間であればよいと考える。
- ・現状把握ができていない。2年後に合併10周年を迎えるというのに、東西市民の意識を融合させ鼓舞するような施策がいまだに打ち出せない。
- ・3回目の会議までに出された意見等は、やや偏ってもいるし、また散文調・文学的ともいえる様な、正直十分な議論を経ていない、意見集約2段階前の内容でした。具体的対策で何が出てくるのか分らない段階で、全体のまとめをするのに非常に苦労しました。
- ・時間が足りない。構成メンバー内の議論が足りない。いっそのこと、個人の発議にしたほうがよかったのではないかと。それほどの打合せもなく、グループ提案とした意味が分からない。
- ・他の廃校の利活用事例なども提供して欲しかった。
- ・時間の制約から「最後のまとめ、パワーポイント作成を事務局にお任せ」では、インパクトが弱い。自分でまとめないと伝わらない。

3. わからない

- ・自分は子育て支援の提案担当だったが、時間が足りず、補足資料などをもっと準備すべきだったと思う。

II. 未来政策会議（本番）

1. 未来政策会議での提案は適切に行うことができましたか。

1. 概ねよかった	7 人（46.7%）
2. やや不満	7 人（46.7%）
3. うまくできなかった	1 人（6.7%）

（※15名回答）

【理由】

1. 概ねよかった

- ・事前資料が発表用にまとめることを全く意識していない様な段階のもので、また打合せしてシェイプする時間もなく非常に難儀しました。『協働の促進』を思考されている方が多いと判断しその方向で纏めました。結果的には良かったのかもしれませんが。
- ・結果的に外部の審査員からも評価されたので・・・
- ・チーム全体の想いが提案出来たと思う。
- ・緊張ありでしたが、皆様良かったと思います。市民の方（聴衆の方）が、もっと意見してくれたらいいのと思いました。
- ・市民目線の感覚、思い（夢）の提案内容であり、具体化に進める上では幾つもの問題（法的規制）を対応しクリアせねばならない提案内容であるが、ふじみ野市に有用な内容を提案出来たと判断している。

2. やや不満

- ・具体的提案内容の例を写真でのイメージ等を示して、もう少しわかりやすい形にして提案したかった。
- ・本番の内容は、グループの方々の意見をまとめて申し上げることでしたので、会場の皆様に理解されたかどうか心配でした。
- ・時間的に短かった事と政策の提案としては、あまりにもバラバラでまとまりがなかったと感じています。
- ・タイムマネジメントがうまくいかず、時間が足りなかった。10分はプレゼン時間がほしかった。
- ・素人が、自分で作成しないパワーポイントで、リハーサルも充分でなく、ぶっつけ本番の原稿棒読みでは、聞き手に伝わらない。
- ・もっと自分の意見がうまく伝えられたのではないかと反省しています。

3. うまくできなかった

- ・大いに不満である。提案事項については、メンバーからすれば、一応言ってみたという程度の無責任発言。市当局から見れば、一応聞きおいたという形式的聞き取り。

2. 未来政策会議での対話、議論についてどう感じましたか。

1. 概ね納得感がある	7人 (46.7%)
2. やや不満である	7人 (46.7%)
3. おおいに不満である	1人 (6.7%)

(※15名回答)

【理由】

1. 概ね納得感がある

- ・初めての会議にしては、まあまあでしょう。
- ・直感的、主観的な対話、議論が多いと感じましたが、あくまでも一般市民参加が前提の会議ですのでそれで良いと思います(最後にまとめ発表する人が人知れず苦労しますが)。事前にもっとデータを与えれば、会議の内容・方向がより充実すると思われます。
- ・考えられることは表現したつもり。
- ・コーディネーターの議事進行がすばらしく、全体で一つの議題が共有できたと思います。会場がまとまっていたと思います。
- ・納得と言うよりも満足。公開事業評価より楽しい未来会議なので、こういう形で色々決めていけば良いと思う。
- ・議論を深めるというよりもアイデア自体を出し合うことが目的と感じたので概ね納得している。

2. やや不満である

- ・細かい意見が多く、バラバラで、噛み合わない。市民の気持ちを一つにできるような提案を試みたかったが、発言するチャンスを逸した。
- ・シティプロモーションは、つかみどころのない、難しい案件だったと思う。議論についても行政で現状、行われている事例を担当者同士が、各々でもう少し把握して、行うべきだったと思う。
- ・もう少し議論を掘り下げたかった。
- ・チームAとチームBの内容が、最後までかみ合わなかった事とチームAは、法規や規制についても考えた案であったのに対し、チームBはアイデア止まりだった為。
- ・出来れば前提条件的なものをある程度明確にしての討論の場であったならば、あるいは各位からより活発な提案を含めて意見が述べられたのかなと思う次第である。
- ・色々な市民の集まりだから仕方がないが、ルールが無い。採決で消えた提案が復活している。自己主張、声が大きい方が残る。
- ・職員の方は、自分たちの中で制限を設けすぎているように感じ、もっと自由な本音の提案を言って欲しかったです。

3. おおいに不満である

- ・個人の意見ならそれらしく、個人に責任を持たせて。チームの発言ならそれらしく、議論を重ねて。個性もないし、共通認識もない。

3. このような未来政策会議を実施し、市の課題を検討することについてどう思われますか。

1. 非常に意義がある	17人(100%)
2. あまり意義を感じない	0人(0.0%)
3. わからない	0人(0.0%)

【理由】

1. 非常に意義がある

- ・市政を行政だけに任せるだけでなく、市民の意見や考え方を反映させる手段の一つであり、ふじみ野市がこのような取り組みをしていることは非常に意義がある。
- ・10年後を見据えて市の未来像をデザインすべきです。ただし、この市に住んでもいない外部コンサルは不要。
- ・進歩前進があるから。
- ・市の直面している課題を早急に議論することに意義があり、今後の政策にいかしてほしい。
- ・議論の内容よりも、市民が直接参加して自発的に会議すること自体に非常に意義があると思います。
『協働の促進』、『市民参加による市民のための基礎自治体』という都市アイデンティティを特徴化・明確化するうえでも重要なのではないのでしょうか。
- ・市民の立場からも行政を見つめるいい機会であったと思う。個々で行政に関して、身近に感じている事を振り返り、テーマとして、公の場で検討するのは有意義な事だと思う。
- ・著名な特産物や観光資源があるわけではないので、人的資源を最大限活用し『〇〇で有名なふじみ野市』になって貰いたいです。
- ・実施しようとする意図、熱意は大いに意義がある。運営方法を工夫すべきだ。
- ・市民が行政に対し、また、一人一人の問題に関心を持つ大切さを感じることが出来ると思います。
- ・行政と市民との「協働」の観点から必要。
- ・やり方については、今回を参考にいろいろ検討する必要はあると思います。未来政策会議が単なるアイデア出しの会合で無い様にできれば、意義はあると思います。
- ・とても良いと思います。
- ・職員、市民がアイデアを一緒に話合ったり、共有化し提案できる場づくりをすることは非常に良いことだと思う。
- ・一般市民に、ふじみ野市の動きや現状問題他の関心を少しでも持って頂くためにも、この様な「未来政策会議」で市の課題検討が行われる(行われた)ことは、大変意義があることではないのでしょうか。
- ・予算、法令等の制約条件は可能な範囲で明確にした方が良い。無駄な提案、無意味な議論が減り、時間の節約になる。
- ・不満を上げればきりはありませんが、初めての試みであり、もっと活発な議論のやりとりが出来るようになれば、さらに有意義になると思います。

4. 来年以降もこのような未来政策会議を実施することについてどう思われますか。

1. 賛成	16 人 (94.1%)
2. 反対	0 人 (0.0%)
3. わからない	1 人 (5.9%)

【理由】

1. 賛成

- ・こうしたことは、一過性では十分な成果は期待できないと思われるので、継続して定着させることが必要である。
- ・市民に作文を書いて意思表示してもらい、少数精鋭のシンクタンクを結成して議論すべきでしょう。ただし、自治会連合会長だから入ってもらうというような手法をとるべきではない。
- ・継続することに意義あり。
- ・毎年、世の中が流動的な状態になって 20 年、ふじみ野市が牽引役となってやっていくべき。
- ・回を重ね定着化することにより完成度は高くなると思われます。最も重要で意義があると思うのは、実質的に市政を担当し専門的見地から重責を担っている市役所一般職の方々と意見交換が出来ることです。残念ながら特別職の方とはそれは出来ません。
- ・市民からテーマを募るというのもいいのではないだろうか。市民が未来について考える為には、よい方法だと思う。出来ればより多くの市民に関心を持ってもらう必要性を感じた。
- ・実施しようとする意図、熱意は多大の敬意を表す。運営方法を工夫すべきだ。
- ・事前に市民が感心を持つ PR が必要だと思います。
- ・行政と市民との「協働」の観点から必要。
- ・やり方については、今回を参考にいろいろ検討する必要はあると思います。
- ・参加します！むしろ、福高は完成形までお手伝いしたいです。
- ・大賛成だが会議後のフォローや、会議後にそのテーマの進捗について報告や共有化はぜひお願いしたい。
- ・一般市民に関心を少しでも持って頂くためにも、また、この様な「未来政策会議」が行われる、行われたことを掲載報告することでも、ふじみ野市の動きや現状問題他を知らせることが出来るのではないのでしょうか。
- ・民意の反映等の表現で、施策の課題検討にうまく活用できるのでは？スケジュール、進め方等を改善、検討すればよいと思う。
- ・他のテーマでも様々な意見交換をすることにより思いがけない良いアイデアが生まれる可能性を秘めています。

3. わからない

- ・単なるセレモニーなら意味はないし、市民の心を本当に震わせるようなテーマなら、もっとじっくりと市民の声を吸い上げて綿密な計画を練った上で実施すべきかと思います。

5. 未来政策会議の開催日・時間についてどう思いましたか。

1. 平日夜間がよい	3 人 (17.6%)
2. 平日日中がよい	2 人 (11.8%)
3. 土日がよい	11 人 (64.7%)
4. その他	1 人 (5.9%)

【理由】

1. 平日夜間がよい

- ・勤め人にとって負担感がないのは平日夜です。公開事業評価とセットで一大イベントとして行うのであれば、土日もやむを得ないと思います。非常に意義のある行事だと思いますので、市報や市の HP の最前面に出し話題性を高める等もっと広宣や対外 PR を積極的に行い、多くの人に来ていただける工夫をした方がよいのではないのでしょうか？
- ・当該事項担当者でない市職員と市民判定人とが、ある話題について討議することには大きな意味があり、市政への理解という点についても効果がある。となると、開催日時は 1 か 3 になるだろう。第 1 回会合時にどちらか決めても良い。

2. 平日日中がよい

- ・自治基本条例策定協議会はほとんどが夜の会合となって疲れた。ダメージが大きい。土日は休息。頭をはたらかすのは平日に。
- ・自分勝手ですみません。子供の夕飯時なので、夜間は保育があったら助かります。でも、子供のことを考えたらさみしいだろうから、夜はあまり出たくないのが本心。母心。

3. 土日がよい

- ・多くの方が参加できると思われるから。
- ・私は半日の日中でもよいが、他の人は如何か。
- ・土日だと一般市民がたくさん来られると思う。
- ・平日夜間だと時間的制約がある方も多と思われる。平日日中も、参加できる方は限られると思う。出来れば、個々の予定の取りやすい土日が理想だと思う。
- ・多くの市民の参加が望めるのではないのでしょうか。
- ・公開する以上は、聴衆者を多く集めるため。
- ・今回の様な形で良いと思います。
- ・半日以上にわたる長い時間で、いろいろな人が傍聴できる場としては土日が好ましいと思う
- ・「未来政策会議」を聴講参加する一般市民の方々の都合は、やはり土日が良いのではないのでしょうか。また、当該会議参加者の都合も同様なのではないのでしょうかね？
- ・多くの市民が傍聴できる日時が良い。お祭り等の行事と重ならないような日時設定が必要。

平成 25 年 7 月 13・14 日実施「オールふじみ野」未来政策会議【チーム B 市民メンバー】)

- ・平日夜間か休日夜間が個人的にはうれしいです。日中は仕事もしくは個人的なイベントが入っていることが多いのですが、より多くの市民の方が参加できる時間帯が一番いいです。

4. その他

- ・内容によります。

6. 来年度、この未来政策会議を実施する場合、テーマはどのようなものが良いと思いますか。

- ・循環型社会に向けた取り組み
- ・地域連携の在り方と自治会の意義
- ・男女共同参画における行政と市民の取り組み
- ・「合併 10 周年に向けて—ふじみんの郷建設へ」
ふじみ野市の歴史と伝統と水と緑を踏まえて、市民にとって居心地のいいまちづくりをデザインしなければなりません。観光都市建設に向けて 10 万市民が気持ちを一つにできるならば、参加・協働に弾みがつき、自ずと他地域から人びとを招き入れることができるようになるでしょう。
- ・今後、市の状況を時間あるとき見て回り、考えて答えを出したいと思います。
- ・公開事業評価の中にも多くのヒントがありました。例えば、
防犯対策(自主防犯組織や地域防犯活動のあり方)、空き家対策、60 歳以上の方に健康診断を受けてもらう有効な方法、メタボ健診、放置自転車対策・交通安全、町会・自治会活動推進策、保育事業、民営化推進、児童センター、生涯学習、生活保護基準のあり方、削減策、環境センター活用、防災事業、まちづくりの方向性、バス事業、道路事業、教育水準・環境向上、いじめ対策、スポーツ振興、等々、行政上の重要な問題点を採り上げると良いと思います。
- ・テーマ自体を募るといのもいいのではないだろうか。市民全体の関心が持てるように、未来を考える為にも、このような行政サービスが欲しい等身近に感じている事をテーマとして提案してもらるのが望ましいのではないか。また、提案者には会議に参加してもらい、議論や発表を行ってもらう事で、行政への関心も深まると思う。
- ・全有権者に市政に対する喫緊の要望を 3 点程度挙げて貰い、分析した上で提起したら良いのでは。その場合必ず費用の問題が出るので受益者負担とするか、とことん前提条件を整理する必要あり。
- ・シティプロモーション「ふじみ野市の魅力発信」は、今回の会合数では、抽象度が高すぎる。「旧福岡高校後利用」は、抽象度が低く、具体的問題であったが故に、適当であったかもしれない。中間の抽象度の話題設定がよいのではないか。例えば、福祉問題とか、教育問題とか、市政の享受から協働へとか、範囲や領域を絞ることがあっても良いのではないか。
- ・「もっと知ろう ふじみ野市」旧上福岡、旧大井の歴史、文化を知ることにより、お互いの理解が深まると思います。必ず旧上福岡と旧大井の問題点を取り上げ、「まとまらない」という言葉を聞きますが、より理解すること、市民、市政の意識をもう一度再認識する必要があります。
- ・観光資源、新河岸川の利活用
- ・犯罪ゼロ、交通事故ゼロをめざして市民が出来ること
- ・蘇れ！上福岡の商店街
- ・自治会＋防犯コミュニティなど、地域の安心、安全について（新しい会の提案）
- ・旧福高の利活用について（継続）
- ・（地域側からもみた）小中学校との真の協働の関係づくり
- ・ふじみ野市の新しい時代に向けた農業（自給率向上含め）
- ・リサイクル先進のまちづくり
- ・エコロジーとエネルギー

- ・実際に運営するに当たって、市民の参加、協力が不可欠となるテーマ
(例：安心安全なまちづくり→地域の防災対策、独居老人の見守り対策、子供の安全見守り対策)
- ・利用者としての市民目線の評価が反映できるテーマ (例：関連した証明書類交付窓口の一本化)
- ・市民が参画したくなる楽しい会議のテーマ (例：ふじみ野市を〇〇で埼玉県内一番にするには)
- ・待機児童の問題の解決
- ・七夕祭りを盛り上げるためのイベント
- ・地域内の失業率を減らすためについて
- ・地域医療、小児救急医療の問題について
- ・商店街活性化プロジェクト
- ・人口増加プロジェクト
- ・耕作放棄地の再利用
- ・医療費削減プロジェクト
- ・振り込め詐欺やリフォーム詐欺からお年寄りを守るシステム
- ・ベンチャーキャピタル事業
- ・地元のスター発掘事業

7. その他、今後に向けて、ご意見、ご感想、ご提案をご記入ください。

- ・ふじみ野市は、こうした企画について、外部のコンサルタントにやや依存し過ぎのように思われます。市の職員の能力は、十分備わっているように感じました。今回の取り組みの学習効果を踏まえて、外部のコンサルタントに頼らず、今後、ふじみ野市の行政と市民が協働して取り組んでいくことが必要かと考えます。
- ・7月14日(日)に公開事業評価を見学させていただきましたが、評価人(外部・市民)の資質・品格に疑義あり、実際の生活感情を有する市民と市職員をこそ尊重すべきでしょう。公開事業評価は廃止すべきではないでしょうか。
- ・参加・協働と言っても、まちづくりの命運を左右する自治会加入問題と自治会設立問題があります。自治会区域の見直し、自治会の理念、モラル、自治会長の権限乱用など禁止事項を再検討し、別途シンクタンクを立ち上げて審議することはできないものではないでしょうか。三芳町のような自治会条例をつくることも視野に入れなければなりません。
- ・コンサルや外部仕分け人招致にお金を使ってはいけません。市税は市民の積極活動にこそ、わずかであってもいい、手当すべきものだと思いますよ。ボランティアの間にただ働きさせられているという不満が鬱積しているのをご存知ないのですか？うれし野会館方式がよろしいのではないのでしょうか？市も潤います。
- ・ふじみんのキャラクターグッズの事柄が多く出てきて第2庁舎1階の産業振興課で販売するのを中止し、市内の小・中学校制服、体育着を販売している衣料品店にお願いして販売してもらい、種類をもっと増やすべきだと思う。(筆箱、小・中学校で使うノート、一般ノート、レポート用紙)。市報の広告だけでなく、市の公共施設の開いているスペースに有料看板を設置し、市の借金を減らし、うるおいある市にしよう。市職員は待ち業務かもしれないけど、攻めるのも必要だと思う。政策会議はふじみ野市が初めてで非常に良かったと思う。今後は20代から40代の市職員・市民を多く入れて欲しい。
- ・『専門的見地・知識を持った行政のプロでありまた継続性のある市役所一般行政職の方と市民が集い、共に問題について検討し語り合い、問題解決に向けて議論をしていく。』この点が、他市に例をみない素晴らしい試みであり、フィードバック手法と並行して、定着化すれば『ふじみ野市オリジナル』として、他市に誇れる特徴に十分なり得ると思います。(特別職の方が行くと、意図しなくても選挙絡み・利害反映のみえみえ感が強くなってしまいますし、また問題解決に向けた継続性、専門性と即応力では一般職の方が適任だと思います)。今回、様々な部局の方とお話が出来たことが非常に嬉しかったです。この様な提案をされた、コンサルの方の着眼点も素晴らしいと思います。是非、『協働の促進??』の観点からも継続事業化していただきたいと思います。

私事ですが、大学では政治学科(行政学等)を専攻しましたが、営利企業に就職してしまった関係でこれまで納税以外あまり自分の住む市に対して貢献してこなかったと思います。今回のことが契機で、自治検(政策法務)の勉強を真面目にやろうという気になりました。今後とも市民力の涵養に努めたいと思います。次回も参加しますので、是非、気軽に声を掛けてください。
- ・テーマが決まっているにも関わらず、なかなか方向性が定まらず、時間的制約もあり、議論がつきないまま、少々見切り発車に近い状態での発表になってしまった。周囲の方々も初めての為、戸惑いもあり、意見を集約するのは難しかったと思う。ただ、テーマに沿った意見交換の場であったにも関わらず、個

人的な見解や意見を述べる方々がおられ、時間的にも制約がある中でもなかなか議論が進みにくかった事もあったのは残念に思った。今後は難しいかもしれないが、出来れば、様々な年代の方々からネット等で意見や提案を頂き、在住者へより身近にふじみ野市を感じて、同時に問題意識をもってもらえるように市民の参加を希望したい。また市議会等でも発表を行うなどの参考となる提案に具体性を持たせる事で、更に関心を持たせる事もできるのではないだろうか。会議も回数を重ねる事で、新たな方向性が見いだせばいいのではないか。自分自身としては、拙い提案を公の場にてプレゼンを行うという大変よい経験をさせて頂き、感謝している。

- ・ 市政の運営はともすれば、一部の圧力団体や組織に迎合しがちに映ります。市政を支える有権者が本当に欲していることを上手にボーリングし、客観的に判断して遂行して欲しいです。行政の弱点の一つに箱物や道路等を造ってもその後の維持管理に目が届かず費用捻出に苦慮している自治体が呆れるほど存在しています。これらは単年度会計の盲点かも知れません。ご参考まで
- ・ 私自身にも、うまく動けたかどうか、反省すべき点が多々あります。お詫びします。
愛するふじみ野市の未来のために、感じるところを包み隠さず申し上げました。お世話になりました。特にご担当事務局の皆さんは大変です。どうぞご自愛ください。
- ・ 6時間の短い期間でしたが、無事終わりました。初対面、環境の違った人たちの考えをグループの意見としてまとめ上げる難しさがありました。しかし、ふじみ野市を思う気持ちは皆同じである点がまとめあげる一番の力だったと思います。今後は、どうしたら市民が活発に参加できるかということが課題と思います。そのためには、ちいさな点（力）をたくさんつくり、点と点が線で結ばれ、未来は大きな力となる努力が必要だと思います。一人一人が目、口、耳を活発に動かすことが、市政とのキャッチボールに必要なとも思います。結果を求めすぎず、できることからのお互いの努力が未来に繋がります。
- ・ 新河岸側に遊覧舟のアイデアは、夢があり、雄大なプランです。市だけでは無理そうで、県と国の援助が必要でしょう。川越見学に来られた客を誘い、福田屋等を見学後、上福岡駅近くの商店街へ誘導だけでなく、福高跡地の一部を改良し、地元のほうれん草やにんじん、ゴボウ等といった精進料理に近いものを安く提供し、希望者には宿泊できるようにする。また、富士見市に大型ショッピングができるので、逆に2市1町の市民も川越観光に送り込む。そのために、ぜひとも水陸両用バスを目玉として活動させ、私自身も参加したい。
- ・ 草さえ生えなければ、耕作と認め、やる気のない農家は暇さえあれば、耕耘機で耕している。むしろ、傍に住んでいる住民にとっては、草が生えていた方が泥埃しなくてよい。野菜や作物等何も作らず、草だけ生やさずに泥埃をたてて、近隣住民に大変迷惑をかけている。そういう農家さんによって対策を打つNPOなどはないのでしょうか。
- ・ 問6については、市民に質問する内容ではなく、行政内で考えるべき事だと思います。どんなテーマで開催しましょうか？と聞いた瞬間、未来政策会議は、単なるイベント（行事）になってしまい、政策検討の意味合いは、見せかけの様に思われます。
- ・ 楽しく有意義な会議に参加させていただきありがとうございました。未来政策会議が今後ますます市民に認知され、発展することを期待します。
- ・ このような、前例のない会議で政策をまとめるとしたら、コーディネーターの実力が非常に大切と考えます。特に、参加者の能力や考え方を有効に引き出し、援助しながらまとめ上げる能力は非常に重要と思われる。結論をどう導き出すかは、考えておく必要がありますし、参加者だけでまとめ上げろと言

っても、今回のような人選では無理だと思います。政策会議の位置付け（単なるアイデア出しか、政策提案まで高めるのか等）だけは、明確にしておいた方がいいと思いますが、実施できるような政策を提案することは、市民だけではたぶん無理だろうと思いますので、アイデア出しのステップと政策としてまとめるステップを分けた方が良くように思います。

- ・ 近々、会議の提案待っています。ありがとうございました。
- ・ 本会議後にチームAおよびチームBから提案され話された内容が、今後どう施策に活かされていくのか、説明が必要だと思う。
- ・ 今回の未来政策会議本番において、ご意見番役のお二方について、第三者的な立ち位置の役割だったと思いますが、そもそも必要なのか含め疑問が残った。事業評価などに慣れていそうなお二人でしたが、未来政策会議については、アイデアを出すことを目的としているならば、ご意見番なしでチームA、チームB、会場の人達でもいように思った。
- ・ 「福岡高校の利活用プラン」については、これを機に改めて提案したいと思いますが、PPPなどで民間の力を活用し、市民活動にも開き、共存・共栄してまちを元気にする場として整備してほしいです。
- ・ 今回のチームBのつながりを、継続的なつながりとして育てるといいなあと思いました。
- ・ 初回の通知には、「オブザーバー…観察いただき…」という説明があったが、実際は提案等の実務であった。（覚悟のうえです）
- ・ 事前会議3回目からの参加者が1名、白紙の状態に参加、その一人の為に会議を止めて今までの経緯を説明し理解させた。他の参加者の貴重な時間を無駄使い、配慮に欠ける行為であった。（全会参加が必須条件の筈、事前に資料で欠席時の経緯は学習でき、事務局からも経過説明が聞けた筈）
- ・ お疲れさまでした。事務局ご担当の皆さんのご努力、ご苦勞に感謝します。あすのふじみ野市に希望が持てました。一市民として出来ることから、まちづくりに協力して行きたいと思います。
- ・ この会議を通じて仲良くなったメンバーの方々やコーディネーター、外部評価員、市役所の方々と定期的に意見交換できる機会を作って、ふじみ野市が日本で一番住みやすい街になるためにはどうしたらいいのかを考えたいと思いますので、よろしく願います。
- ・ 積極的なメンバーには、今回の大がかりな会議ではなくていいので、普段からこのようなメールのやりとりでもかまいませんので、細かい地域の問題について意見を求める仕組みを作った方がいいような気がします。